

## あ と が き

この1年間を振り返ってみると、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応に誰もが多くの時間を割かれた日常であったと思います。本研究所におきましても、日々試行錯誤の研修、研究ではありましたが、2月9日には、守山市立図書館において、昨年中止となった研究発表大会を開催することができました。オンデマンド配信とはなりましたが、多くの先生方にご視聴いただいたことを大変うれしく思っております。

その一方で、学校現場では、感染拡大防止の観点から、様々な学習活動に制限がかかり、子どもたちの学びに少なからず影響を与えているように感じます。そのような中でしたが、GIGAスクール構想によって、1人1台端末が子どもたちに行きわたり、新しい学びの広がりを実感した1年間でもありました。本市のICT教育は、他市に先駆けて端末を整備したこともあって、ずいぶんと先進的な取組をすることができています。それらは、市内各先生方の日々の研鑽によるものと大変感謝しております。そこで、本研究所の研究成果がICT教育のさらなる発展に寄与できればと思っています。

また、本年度の研究成果として、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた学級づくり、授業づくりハンドブックを完成させることができました。特別な支援を必要とする児童生徒に目を向けることが、一人ひとりのすべての子どもにとってわかりやすい指導につながっていくという実践をわかりやすくまとめたものであります。児童生徒を深い学びに導くためにも、実際の学級づくり、授業づくりにぜひ活用してください。

今後も、学校園が直面している今日的教育課題の解決を目標に、研究や研修講座を企画し、守山教育のさらなる発展に寄与できるよう引き続き努力してまいります。本研究所の研究成果が、本市教育実践の一助となれば幸いです。これからも、多くの方々のご助言をいただく中で、充実した研究、研修に尽力していきたいと考えますので、どうぞよろしく申し上げます。

最後になりましたが、本年度の研究におきまして、指導講師としてご協力いただきました、びわこ学院大学教授 小西 喜朗 先生、滋賀県総合教育センター研修指導主事 西塚 洋 先生をはじめ、研修講座や教育研究発表大会でお世話になりました多くの先生方に、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。